

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平2-79170

⑬ Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)6月18日

H 02 K 21/14

G

7052-5H

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 考案の名称 コイル用の接続端子

⑯ 実 願 昭63-158106

⑰ 出 願 昭63(1988)12月6日

⑱ 考 案 者 水 谷 実 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気工業株式会社内

⑲ 考 案 者 林 邦 治 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気工業株式会社内

⑳ 出 願 人 沖電気工業株式会社 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号

㉑ 代 理 人 弁理士 鈴木 敏明

㉒ 実用新案登録請求の範囲

互いに直交する方向の露出口と配置換え用の挿入口とを有する取付孔を形成した絶縁材からなる本体と、該本体の取付孔に取付けられほぼフック状に折り曲げられて自由端に形成された折曲部を前記露出口から露出したコンタクトとを具備し、前記本体をコイルの側面に突出させて一体に構成することを特徴とするコイル用の接続端子。

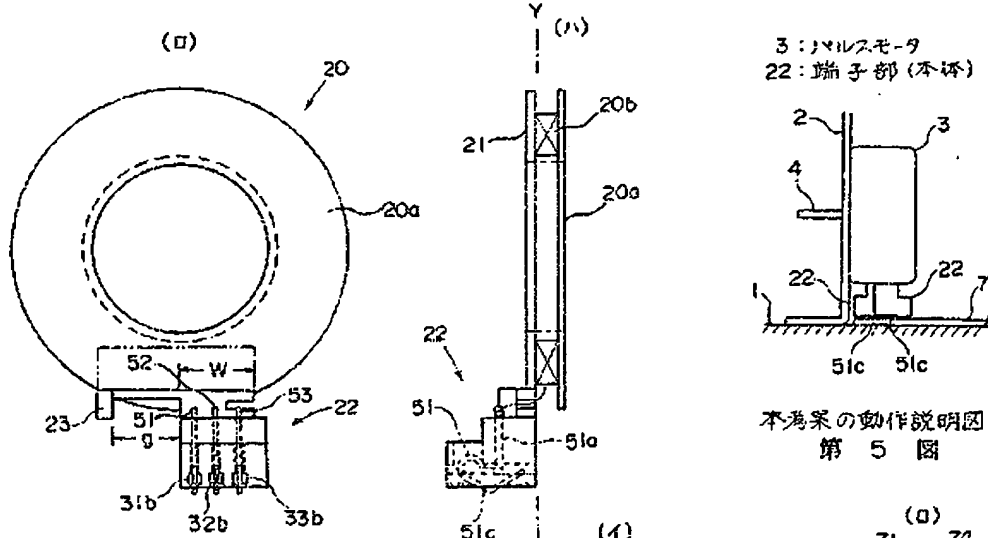
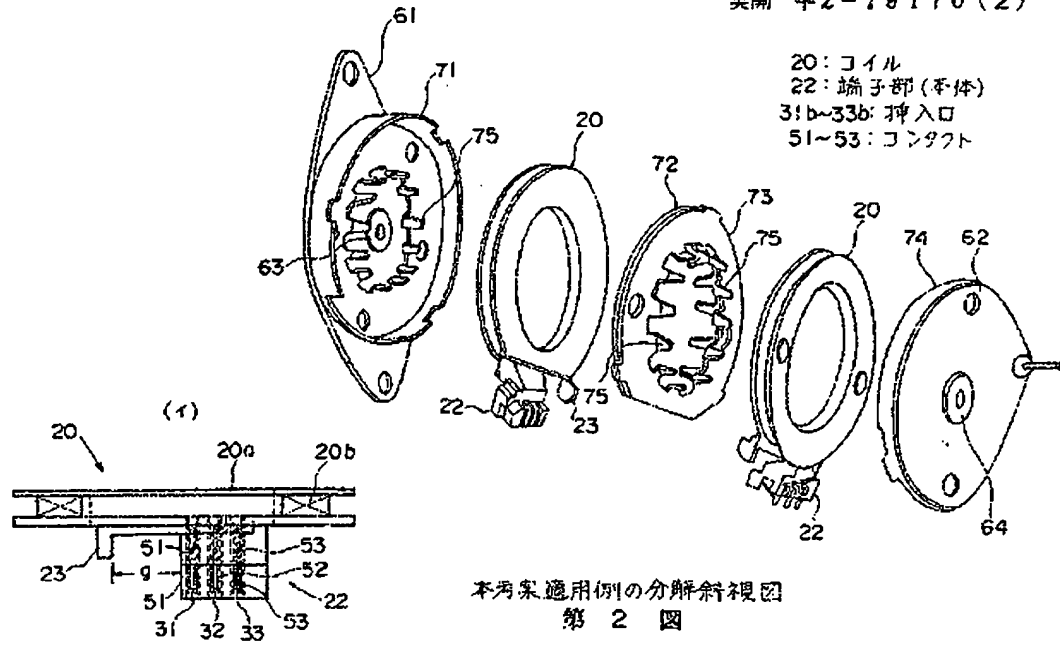
図面の簡単な説明

第1図は本考案の実施例の構成説明図で、イは平面図、ロは正面図、ハは側面図、第2図は本考

案の適用例の分解斜視図、第3図は本考案の適用例の構成説明図で、イは正面図、ロは側面図、第4図は本考案要部の説明図で、イ、ロは断面図、ハは斜視図、第5図と第6図は本考案の動作説明図、第7図と第8図は従来装置の構成説明図である。

第1図において、20はコイル、22は本体、31a~33aは露出口、31b~33bは配置換え用の挿入口、51~53はコンタクト、51cは折曲部である。なお、図中同一符号は同一または相当部分を示す。

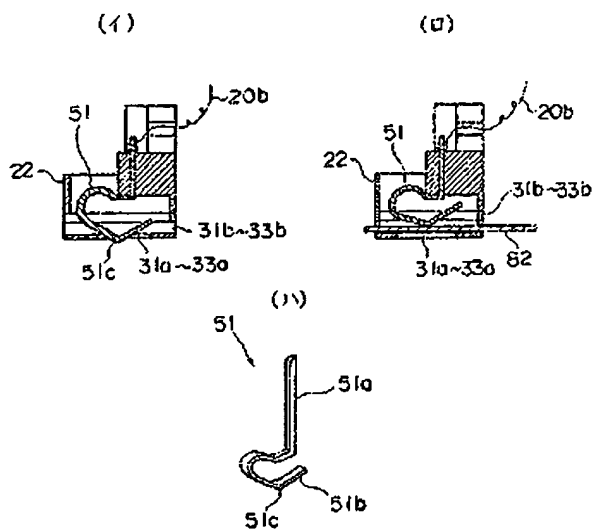
実開 平2-79170(2)



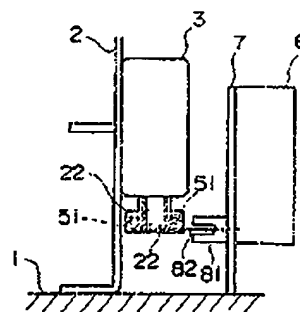
本発明実施例の構成説明図
第1図

本発明の適用例の構成説明図
第3図

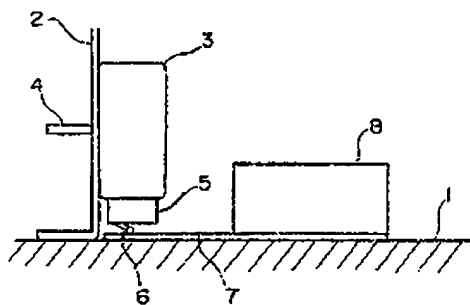
実開 平2-79170(3)



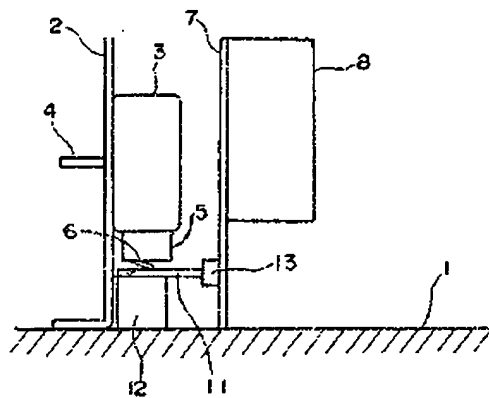
本発明の要部説明図
第4図



本発明の動作説明図
第6図



従来装置の構成説明図
第7図



従来装置の構成説明図
第8図